

学校関係者評価報告書

学校法人鶴嶺学園

湘南ウェディング専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人鶴嶺学園 湘南ウェディング専門学校、学校関係者評価委員会は令和 3 年度自己点検評価報告書の結果に基づき学校関係者評価を令和 4 年 6 月 22 日に実施したので下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会 出席者

名 前	所 属
境野 勝久	道塾慶陽館 主宰
笹尾 茂樹	公益社団法人日本ブライダル文化振興協議会 委員
柳下 伸	NPO 法人 トータルライフサポートクラブ 理事

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施に当たっては、年度末に実施した「自己点検評価」を学校関係者評価委員会の皆様にご覧いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価を取りまとめました。

評価結果は今後の本校における教育活動や学生指導の学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表します。

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

各評価項目別の質疑意見は以下の通り

評価項目（1）	教育理念・目標
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育理念は変わらないが、時代に合わせて目標は変えていく必要がある。 ・卒業後、即戦力になる人材の教育を行うこと ・「笑顔きらめくプランナーへの近道」

評価項目（2）	学校運営
	<p>就職先として、実習先として、サン・ライフグループの法人との連携を強化してほしい。 他の実習先、就職先としての教員と施設との連携をすすめること。</p>

評価項目（3）	教育活動
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して学生の基礎学力低下（質の低下）が見られる。 ・コロナ禍におけるブライダル業界の現状を理解するために教職員が外部の研修に積極的に参加してほしい。 ・退学者の防止への取り組みを継続し、就職・卒業まで結びつける。 ・関連業界と情報交換を積極的に行い、連携強化に努めながら、就職や実習先に繋げていくこと。

評価項目（4）	学習成果
	<ul style="list-style-type: none"> ・退学予備軍の学生への個別フォローへの取り組みを継続。 ・教員だけでなく、事務職員も学生への日ごろの声がけなどで、ケアを行うこと ・学力の低い学生についての補講などを含めたフォローを継続して行うこと ・ブライダル関連の検定合格率向上を目指し、授業外でも補講等行うこと ・座学を中心とした授業はリモート授業の取り組みを進める必要がある ・コロナ禍で施設見学が減少しているため、卒業生からの情報を在校生に共有していくこと

評価項目（5）	学生支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・学費分納対応の学生について、分納の申請書の徹底を行うこと。 ・コロナウィルス問題で、学生の保護者の経済状況が変化するなどの問題が出ることもある。 各種奨学金等、情報を整理し、保護者に情報提供すること

評価項目（6）	教育環境
<p>今後も必要な設備の改善は行っていただきたい</p> <p>リモート授業の取り組みを継続して進める必要がある</p> <p>WEB説明会や選考が増えているため、安心して受験できる環境を作る必要がある</p>	

評価項目（7）	学生の受け入れ募集
<p>18歳人口に頼らない既卒社会人の取り込みは急務の案件である。</p> <p>さらに、男子学生の獲得については継続して優先課題として取り組むこと</p> <p>高等学校の授業開始の遅れと、募集活動の遅れが懸念される</p>	

評価項目（8）	財務
<p>本科外の授業（企業のマナー研修、ブライダル施設の職員向けステップアップ研修）などの開発に 取り組み、18歳人口だけに頼らない収入要素への取り組みは課題。</p> <p>・学費分納者の回収進捗に注意すること</p>	

評価項目（9）	法令の遵守
<p>特に問題なし</p>	

評価項目（10）	社会貢献・地域貢献
<p>コロナ禍が落ち着いたら、七夕ウェディングや湘南ベルマーレでのイベント等に今後とも積極的に 取り組んで、学校のアピールにつなげてもらいたい。</p> <p>今回のコロナウィルス問題でブライダル産業そのものの動向に注意を払う必要がある。</p>	

総評

上記10項目に対し、委員による評価を行った。

今後とも継続的に調査、評価を行い、学校運営の質の向上を図っていく。

同学園内に職業実践専門課程取得校が2つ既に存在しているが、湘南ウェディング校としては、他の学校にない、学校の独自性、優位性を維持し、広くアピールして行くことも求めたい。また、湘南地域だけでなく、箱根小田原地域の特色ある施設と連携し、当校の独自性を伸ばしつつ、教育内容の改善に取り組んでいただきたい。

また、一昨年から引き続いているコロナ禍により、ブライダル業界に大きな影響が出ている。実習先の受け入れ状況が悪化し、外部者の受け入れに難色を示す施設も出ていると聞く。また、業界そのものの不況は学生の就職にも大きく関係してくる。就職活動の時期を早めるほか、業界の状況に気を配り、きめ細やかな指導していただきたい。

以上